

# 北納だより

温故  
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北納学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第11号 令和7年12月12日発行

文責 校長 武藤 健

令和7年度重点目標「目標達成に向かって粘り強く取り組む子供の育成」

## 9か年の学びのつながりを感じる一年の締めくくりに…

今年も残りわずかとなりました。八女市は2学期制のため、12月に終業式はありませんが、子どもたちにとっては、一年の歩みを静かに振り返り、新しい年へ向けて心を整える大切な時期となっています。

本年度の子どもたちの姿をふり返ると、義務教育学校としての9年間の学びのつながりが、学校のあらゆる場面で確かに息づいていることを改めて実感します。初等科が素直なまなざしで学びに向かい、中等科が意欲的に挑戦し、高等科が自覚をもって学校を支える。そして、最上級生である9年生がその姿をさらに広げ、下級生を導きながら、自らも深い学びへと進んでいく。こうした連続性のある育ちの積み重ねが、本校の教育の大きな強みです。

特に今年は、運動会や学習発表会、児童生徒会活動、部活動などで、上の学年が下の学年を自然に支える姿が多く見られました。下級生はその背中を見て学び、やがて自分たちが上級生になったときに同じように学校を支える存在へと育っていきます。「学年がつながり、学びがつながり、心がつながる」この循環こそが、義務教育学校の強みであり、9年間を通して子どもたちが深く成長していく原動力になっています。

こうした確かな学びの積み重ねは、保護者の皆様、そして地域の皆様の温かいご理解とご協力に支えられています。日々の見守りや学校へのご支援に、心より感謝申し上げます。

新しい年も、子どもたち一人一人が、自分の学びの歩みを自信をもって進めることができるよう、教職員一同、引き続き丁寧な教育活動に努めてまいります。

寒さが厳しくなる時期です。どうぞご家族皆様で健やかに、良いお年をお迎えください。



## 「誰か」のことじゃない ～人権週間：12月4日から12月10日～

12月10日は、昭和23年（1948年）に国際連合で採択された「世界人権宣言」に由来する「人権デー」です。人として尊重され、自由と平等のもとに生きるという原則を国際的に示した大切な日です。また、日本では12月4日から10日までを「人権週間」とし、全国で様々な啓発活動が行われています。

本校でもこの期間を、子どもたちが「自分も大切にされ、相手も大切にすること」を見つめ直す機会として位置づけています。義務教育学校として、1年生から9年生までが共に学ぶ環境は、互いの違いを理解し、思いやりを育てる大きな力となっています。

日々のあいさつや話し方、友だちとの関わりの中にこそ人権の実践があります。相手を思いやる気持ちや人を尊重する気持ちを行動で表せる学校づくりに、これからも全校で取り組んでまいります。



## 自分の進路について考える ～自分を知り、未来を描く力を育てる～

義務教育学校である本校では、1年生から9年生までの9年間を一つの学びの連続として捉え、見通しをもった進路指導・キャリア教育の充実に取り組んでいます。自らの進路や将来を選択していくうえで大切なのは、まず「**自分を知る**」こと、そして「**職業や進学先を知る**」という二つの視点です。どれも一朝一夕に身につくものではなく、日々の生活や学びを通して少しずつ積み重ねていくことが必要です。

そのために、本校では低学年のうちから、授業や行事、地域との関わりを通して「働くこと」や「学ぶ意味」を実感できる機会を取り入れてきました。友だちと協力する活動や、自分の得意・不得意に気づく学習は、将来の自分を思い描くための大切な一歩です。幼い頃に芽生えた興味や関心が、中・高学年での探究活動につながり、7年生（中学生）以降の本格的な進路学習へと発展していく、これが本校の9年間のキャリア教育の強みです。

そして今、9年生はいよいよ受験を目前に控えています。不安を抱えながらも、毎日こつこつと学習に向かう姿、仲間と励まし合いながら努力する姿に、頼もしさを感じています。皆さんはこれまでの9年間で、多くの経験を積み、確かな力を身につけてきました。今の頑張りは、必ずや自分自身の未来を切り拓く力となります。9年生の皆さんには、**自分を信じ、一歩ずつ着実に前へ進んでほしい**と思います。

そして保護者の皆様には、これまでと変わらぬ温かな励ましを賜りますよう、お願い申し上げます。子どもたちの進路選択が、将来の生き方につながる大切な機会となるよう、学校としても全力で支えてまいります。**頑張れ!(^\_^)! 9年生!!**



## 久しぶりの再会！！～ワシントン・ミドルスクールとのオンライン交流～

11月27日(木)に、9年生が姉妹校であるハワイ州ワシントン・ミドルスクールの皆さんとオンラインで交流を行いました。夏休みに、実際にハワイを訪問した7名にとっては、久しぶりの再会となり、画面越しでも嬉しそうな表情が印象的でした。交流では、互いの地域や学校生活などを紹介し合ったほか、「カフト」というアプリを使ったクイズゲームで大いに盛り上がりしました。オンラインでも一緒に楽しみながら学べることを実感し、6000キロ以上の距離を越えてつながる意義を子どもたちは改めて感じたようです。

これからもオンラインと実際の交流を組み合わせながら、世界に視野を広げる学びを進めていきたいと考えています。



## 自己ベストをめざして ～持久走記録会（1年生～6年生）～



12月2日(火)に、1年生から6年生までを対象に持久走記録会を実施しました。子どもたちはこれまで、朝の時間のランニングや体育の授業での練習を積み重ね、準備を進めてきました。記録会当日は天候に恵まれ、青空の下、どの学年の児童も「自己ベストの更新」を目標に、一人ひとりが粘り強く走り抜く姿が見られました。苦しくなってもあきらめず、最後まで力を振り絞る姿は、本校が重点目標として掲げている「**目標達成に向かって粘り強く取り組む子供の育成**」の実現そのものであり、大変頼もしく感じました。持久走は結果だけでなく、そこに至るまでの日々の努力や、自分との葛藤を乗り越える経験に大きな価値があります。今回の経験を通して、子どもたちが「やればできる」「努力は自分を成長させる」という確かな実感を得てくれたことと思います。

